

お買い上げありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。本取扱説明書はお手元に保管してください。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度：平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃ で使用した場合)
- 使用温度範囲：0 ~ +40℃
- 使用推奨電池：時計用 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
カレンダー用 単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 1個
- 電池寿命：時計用 約 10 ヶ月 (単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
カレンダー用 約 12 ヶ月 (単3形アルカリ乾電池 1個使用の場合)
- カレンダー：1940年1月1日~2099年12月31日

●印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

本体のご注意

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 強制**
 - 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受ける。
- 禁止**
 - 分解や改造をしない
けがや故障、火災や感電の原因になる。
 - 故障や破損した状態で使わない
けがや火災、感電などの原因になる。
 - ぬれた手でさわらない
さびや故障、感電の原因になる。
 - 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる場所では使わない
さびや故障、感電の原因になる。
 - 本体内部に水分や異物を入れない
 - 火の中に捨てたり加熱しない
 - 梱包用袋は絶対に被らない

注意 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 禁止**
 - 下記のような場所では使わない
精度の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になる。
 - ◆直射日光が当たる所
 - ◆火気のそば
 - ◆暖房機器の風が当たる所
 - ◆温度が+40℃以上の所
 - ◆温度が-10℃以下の所
 - ◆ほこりが多く発生する所
 - ◆強い磁気を発生させる機器のそば
 - ◆車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所
 - ◆プール、温泉場などガスの発生する所
 - ◆調理場など多くの油を使用する所
 - ◆色移りや付着、変質をすることがあるため、ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに、長い間、直接ふれさせておかない。
 - 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になる。

電池のご注意

危険 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 強制**
 - 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
飲み込んだ場合、あるいは飲み込んだ恐れのある場合は、直ちに医師に連絡して指示を受けて下さい。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 禁止**
 - 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る。
 - ◆電池に傷をつけない。
 - ◆電池をショートさせない。
 - ◆電池を充電しない。
 - ◆電池を加熱しない。
 - ◆電池を火の中に入れない。
 - ◆電池に直接ハンダ付けをしない。
 - ◆⊕と⊖を逆に入れない。
 - 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない。
衣服に付着した場合は、すぐに水で洗い流す。
アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する可能性が高い。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取る。
修理が必要な場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談下さい。

注意 障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 強制**
 - 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になる。

電池について

- 電池のご使用上のポイント
 - ◆⊕と⊖を間違えない。
 - ◆時計が動いていても定期的に交換する。
 - ◆長期間使用しないときは機器から電池を取り外す。
 - ◆時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
 - ◆電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池の種類について
推奨以外の電池では製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。一部の高性能電池は、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。アルカリ乾電池とマンガン乾電池は併用しないで下さい。充電式電池・リチウム乾電池には対応していません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。

電池の交換について

- 注意** 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守り下さい。
- 時計が停止したときは、速やかに新しい電池に交換するか、電池を取り外す。
- 時計が動いていても製品仕様欄に記載の電池交換の期限を目安に、定期的に交換する。
※電池着脱の際は、ケガをしないように注意して下さい。

電池・時計の廃棄について

- 廃棄の際は、お住いの地区自治体の指定に従って下さい。
- 電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁する。
(他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあるため)

お問い合わせ先

ノア精密株式会社 サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL:048-933-4080

受付時間:月曜日~金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00~12:00, 13:00~17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

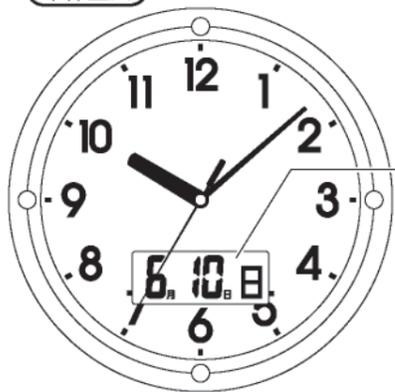
あらかじめご了承下さい。

※お問い合わせの際には、型番をお伝え下さい。

<https://www.mag-clock.co.jp>

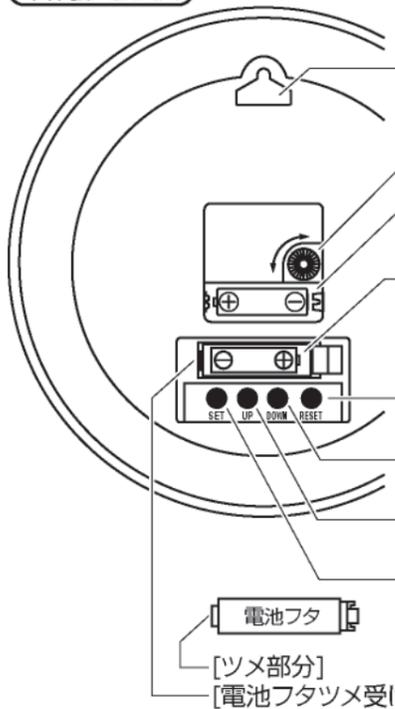


本体正面



- カレンダー(液晶表示)
※カレンダー用の時計と時計(アナログ)は別々に計時しています。そのため、日付の変わるタイミングが、時計(アナログ)とカレンダー表示部で異なる場合があります。
※カレンダーは時計(アナログ)とは連動していません。
お使い始めに手動で設定が必要です。

本体裏面拡大図



- 壁掛け部
- 針回しツマミ
- 時計用電池ホルダ
※電池を入れるときは⊕側から入れて下さい。電池をはずすときは⊖側からはずして下さい。
- カレンダー用電池ホルダ
※電池を入れるときは⊖側から入れて下さい。電池をはずすときは⊕側からはずして下さい。
- RESETボタン
設定をリセットするときに使用します。
- DOWNボタン
設定操作の際、1回押すごとに減算します。
- UPボタン
設定操作の際、1回押すごとに加算します。
- SETボタン
設定操作の際に使用します。
- 電池フタ
- [ツメ部分]
[電池フタツメ受け穴]

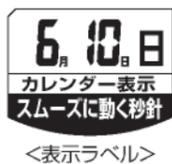
時計(アナログ)の合わせ方

- ①単3形乾電池1個を時計用電池ホルダの⊕⊖の表示に合わせて入れて下さい。時計が動き出します。
※電池を入れる際は、必ず電池ホルダに表示されている⊕⊖の向きをご確認下さい。
- ②針回しツマミを回し、時刻を合わせて下さい。

カレンダーの合わせ方

注意 時計(アナログ)とは連動していません。お使い始めに手動で設定が必要です。設定中の点滅は約15秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

- ①表示ラベルを剥がしてください。
- ②電池フタを開けて、単3形乾電池1個をカレンダー用電池ホルダに、⊕⊖の表示に合わせて入れ、ツメ部分を受け穴に差し込み電池フタを閉じて下さい。カレンダー表示が点灯します。
- ③SETボタンを1回押すと設定モードに入り[西暦]が点滅します。
- ④UPボタン/DOWNボタンを押して西暦を設定します。
- ⑤SETボタンを押すごとに[西暦]→[月]→[日]→[時]→[分]が点滅します。
UPボタン/DOWNボタンを押してそれぞれを設定します。
※[西暦・月・日]を合わせないと[曜日]は正しく表示されません。
※[時][分]を合わせないと、日付が誤表示する場合があります。
- ⑥[分]の設定が終了したらSETボタンを押して下さい。点滅が終了し、カレンダー設定が完了します。



※[時][分]設定時にUPボタン/DOWNボタンを押すごとに秒は00秒に設定されます。
※電池を挿入した後に表示がおかしい場合や、設定時に操作が分からなくなった場合は、RESETボタンを押して下さい。初期表示に戻ります。
※UPボタン/DOWNボタンは、長押しすると早送りします。
※時刻設定は24時間制です。

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0~+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。

電池の交換について

- 時計用電池容量が少なくなると、時計が遅れやがて止まります。このような場合は、すみやかに新しい電池と交換して下さい。
- カレンダー用電池容量が少なくなると、液晶表示が薄くなったり、歪んだりします。このような場合はすみやかに新しい電池と交換して下さい。
※電池交換の時期は、時計(アナログ)とカレンダー表示部で異なります。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

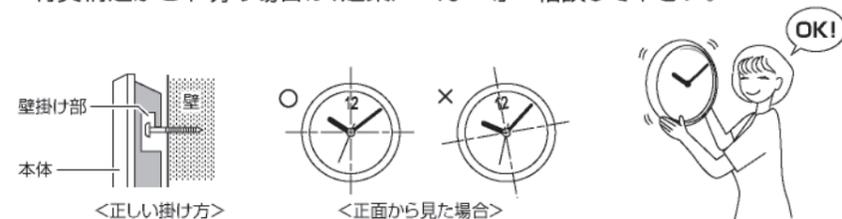
お手入れについて

- プラスチック部品、ガラスをふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。木枠、金属枠の場合は柔らかい布でカラぶきして下さい。
- ベンジン、アルコール、ミガキ粉、ブラシは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
※時計の針には触れないで下さい。正確な時刻を示すことが出来なくなります。
※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意下さい。

時計の掛け方について

注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所で取り付けたら、掛け具で電気配線等を傷つけ火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
※材質構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。



故障かな?と思ったときには...

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ■電池が入っていない ■電池が正しい向きで入っていない ■電池端子の接触不良 ■電池容量が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ■電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池を入れて下さい。 ■端子の表面を拭いて電池を入れ直して下さい。
時計が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。
時計が遅れる	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。
カレンダーがつかない	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない ■電池容量が無い 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。
カレンダーが薄い	<ul style="list-style-type: none"> ■電池容量が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■新しい電池に交換して下さい。